

IV 調査票

草津市男女共同参画についてのアンケート

〈調査の趣旨とご協力のおお願い〉

日ごろは、市政の各般にわたりまして温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

草津市では、男女共同参画社会※の実現を市政の重要な柱としており、その実現をめざして「草津市男女共同参画推進条例」（平成21年4月1日施行）を制定し、また平成22年には、男女が真に対等な市民として、性別にかかわらず持てる力を発揮し、人権が尊重され、平和で豊かな地域づくりをめざして、「第3次草津市男女共同参画推進計画」を策定し、取り組みを進めているところです。

つきましては、施策の現状を調査するとともに、今後の施策・方針の参考とさせていただくため、市民の皆さまのご意見をお伺いしたく「草津市男女共同参画についてのアンケート」を実施いたします。

市内にお住まいの20歳以上の方3,000人を無作為で選ばせていただきました。この調査は、無記名とし、調査結果はすべて統計的に処理いたしますので内容が外部にもれることはございません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

令和元年9月

草津市長

§ アンケートのご記入にあたって §

◎アンケートは、あて名のご本人がご記入ください。

何らかの理由でお答えいただけない場合は、代理の方により、ご本人の意見を尊重してご回答いただきますようお願いいたします。

◎鉛筆、ボールペンなどではっきりご記入ください。

◎特別な語句については、ページ下に注釈を設けています。

◎ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）にて、

9月30日（月）までに、お近くの郵便ポストに入れてください。

◎本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

・ Please call this number as follows , if you have any questions about this research.

・ 본 조사에 관한 문의 사항은 다음으로 연락해 주십시오.

・ 关于这次调查如果有什么联络的事情的话, 请和下面的地址联络。

・ Para maiores informações sobre este questionário, procure a direção abaixo.

・ Si hay preguntas sobre esta encuesta consulte llamando a los números siguientes:

草津市総合政策部 男女共同参画課

TEL : 077-565-1550 FAX : 077-561-2489 E-mail : danjo@city.kusatsu.lg.jp

※男女共同参画社会

男女が性別にかかわらず、自らの意思によって社会のあらゆる分野で対等に活動する機会が確保され、そのことによって、男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を受けることができ、共に責任を担う社会。

よくあるご質問

1. 調査票が自分に届いたのはなぜですか？

今回の調査にご協力をお願いしているのは、草津市にお住まいの20歳以上の方3,000人です。住民基本台帳から無作為に抽出し選ばれた皆さまに、調査票をお送りしています。

2. 回答することで自分の情報が漏えい^{ろうえい}することはありますか？

調査票には「質問に対する回答」と「性別や年代やお住まいの地域など分析に必要な項目」のみを記入していただきます。調査票を返送することで、個人が特定されることはありません。調査票や返信用封筒には、名前や住所などの情報は一切書かずにご返送ください。

3. 回答した結果はどう使うのですか？

いただいた回答は、個人が特定されないようすべて数値に置き換え、統計的に処理をしたうえで、集計結果をホームページや報告書によって公表いたします。調査結果は、今後、市の施策を進めるにあたっての基礎資料とさせていただきます。

4. 回答しなくてもいいですか？

今回の調査は任意でご協力いただくものですが、より正確な調査とするために一人でも多くの方に回答いただきたいと考えております。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

5. いつまでに何を送ればいいですか？

この調査票のみを同封の返信用封筒に入れ、9月30日（月）までにお近くの郵便ポストにご投函ください。切手を貼る必要はありません。



■男女共同参画についておたずねします

問1 あなたは、次にあげるそれぞれの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(①～⑦のそれぞれ1つに○)

| | 男性が優遇 されている | どちらかといえば 男性が優遇されて いる | 平等である | どちらかといえば 女性が優遇されて いる | 女性が優遇 されている | わからない |
|-----------------|----------------|----------------------------|-------|----------------------------|----------------|-------|
| ①家庭生活で | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ②職場の中で | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ③学校教育の場で | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ④地域活動の場で | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑤政治分野で | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑥法律や制度のうえで | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑦社会通念・慣習・しきたりなど | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問2-1 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。(1つに○)

| | | |
|---------------|---|----------------|
| 1. 賛成 | } | 1、2を選んだ方は問2-2へ |
| 2. どちらかといえば賛成 | | |
| 3. どちらかといえば反対 | } | 3、4を選んだ方は問2-3へ |
| 4. 反対 | | |
| 5. わからない | | |

問2-2 問2-1で「1」または「2」と回答された方へおたずねします。

「賛成」「どちらかといえば賛成」とお考えの理由は次のどれにあたりますか。あなたの考え方に最も近いものの番号を選んでください。(1つに○)

| |
|--|
| 1. 日本の伝統だと思うから |
| 2. 配偶者・パートナーや家族が望んでいるから |
| 3. 仕事と家庭を両立するより、性別で役割を分担したほうが効率がよいと思うから |
| 4. 能力的にみて、男性は仕事に向いており、女性は家事・育児・介護に向いていると思うから |
| 5. 母親が家庭にいたほうが、子どもの成長にとってよいと思うから |
| 6. その他(具体的に: _____) |
| 7. 理由を考えたことはない |

問2-3 問2-1で「3」または「4」と回答された方へおたずねします。

「どちらかといえば反対」「反対」とお考えの理由は次のどれにあたりますか。あなたの考え方に最も近いものの番号を選んでください。(1つに○)

1. 性別によって一律に役割を決めることはおかしいと思うから
2. 男女共に仕事と家事・育児・介護などの両方に関わるほうが、各個人、家庭にとってよいと思うから
3. 女性も仕事をするほうが、生活が安定すると思うから
4. 家庭以外の場面でも、女性の能力をいかせると思うから
5. その他(具体的に: _____)
6. 理由を考えたことはない

問3 あなたは、子どもをどのように育てたらよいとお考えですか。お子さんがおられない方も、ご自身のお考えで結構です。(1つに○)

1. 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい
2. ある程度は、男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい
3. 男の子らしく女の子らしくというより、一人ひとりの個性を尊重して育てたほうがよい
4. その他(具体的に: _____)
5. わからない

問4-1 あなたの住んでいる地域(まちづくり協議会・自治会・町内会)の行事・役割などで、男女間の格差を感じることはありますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-----------------|
| 1. ある | 2. ない | 3. 地域活動に参加していない |
|-------|-------|-----------------|

→問4-2 問4-1で「1」と回答された方へおたずねします。

あなたの住んでいる地域(まちづくり協議会・自治会・町内会)の行事・役割などで、どのようなことに男女間の格差を感じますか。(○はいくつでも)

1. 役員選挙に女性が出にくく、また選ばれにくい
2. 地域の行事・祭礼などで女性が参加できなかったり、女性の役割が受付、接待などというように固定化されている
3. 会議などで女性が意見を言いにくい雰囲気がある
4. 会議などでお茶出しや片付けは女性だけがしている
5. 実際に活動しているのは妻である女性なのに、名義や役職は夫の名前である
6. 「女性だから」といって、女性が役員につくことや会議での発言をしりごみする
7. その他(具体的に: _____)

問5 次の言葉について、知っていますか。(①～⑩のそれぞれ1つに○)

| | だいたいい内容を 知っている | 聞いたことは あるが内容は 知らない | まったく 知らない |
|--------------------------|-------------------|--------------------------|--------------|
| ①女子差別撤廃条約 | 1 | 2 | 3 |
| ②男女共同参画社会基本法 | 1 | 2 | 3 |
| ③女性活躍推進法 | 1 | 2 | 3 |
| ④政治分野における男女共同参画推進法 | 1 | 2 | 3 |
| ⑤草津市男女共同参画推進条例 | 1 | 2 | 3 |
| ⑥ジェンダー※ | 1 | 2 | 3 |
| ⑦LGBT※ | 1 | 2 | 3 |
| ⑧SDGs※ | 1 | 2 | 3 |
| ⑨デートDV※ | 1 | 2 | 3 |
| ⑩ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）※ | 1 | 2 | 3 |

※ジェンダー

男らしさ、女らしさといった、生まれてから後に社会的につくられた性差のこと。生物学的な男性、女性といった性別とは区別される。

※LGBT

L=Lesbian（レズビアン、女性同性愛）、G=Gay（ゲイ、男性同性愛）、B=Bisexual（バイセクシュアル、両性愛）、T=Transgender（トランスジェンダー、性同一性障害などの性的違和）の頭文字をとってつくられた言葉。

※SDGs

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称であり、2015年に国連で採択された国際社会共通の目標。17の目標の一つとして「ジェンダー平等を実現しよう」が設定されている。

※デートDV

恋人間に起こるDV（身体的、心理的、性的または経済的な苦痛を与える暴力的行為、その他心身に有害な影響を及ぼす発言または行動）。

※ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

老若男女誰もが仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、さまざまな活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態のこと。



■ワーク・ライフ・バランスについておたずねします

問6-1 生活の中での「仕事※」、「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先度についてお伺いします。

まず、あなたの希望に最も近いものをお答えください。(1つに○)

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をしたい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. わからない

問6-2 それでは、あなたの現実・現状に最も近いものをお答えください。(1つに○)

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
8. わからない

※「仕事」

週1時間以上働いていること。フルタイム、パート、アルバイト、嘱託などは問わない。



問7 あなたの普段（平日と休日）の生活時間についておたずねします。以下の活動について、1日に費やす時間はどのくらいですか。（1）～（9）それぞれについてお答えください。

（回答の合計が 24 時間になるようにお答えください。また、該当しない場合は、□の枠内に「×」を記入してください）

| | 仕事や学校のある日 | 休みの日・仕事や学校のない日 |
|--------------------------------|--|--|
| (1) 仕事・学校 *仕事にはアルバイト・副業も含む | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 |
| (2) 通勤・通学時間 | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 |
| (3) 家事（炊事、買物、洗濯、掃除など） | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 |
| (4) 育児・子育て | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 |
| (5) 介護 | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 |
| (6) 地域活動 | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 |
| (7) 個人の時間（学習、趣味、スポーツ、友人付き合いなど） | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 |
| (8) 睡眠時間 | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 |
| (9) その他 | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 |
| 合計 (24 時間になるようにご記入ください) | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 |



問8 あなたは、今後、男性が女性と共に家事、子育て、介護などの家庭生活により積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 夫婦や家族間のコミュニケーションを増やすこと
3. 周りの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
4. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についての評価を高めること
5. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
6. 男性も育児や介護の休業を取得しやすい環境にすること
7. 育児休業中や介護休業中の所得補償を充実させること
8. 子育てや介護を行っていくうえでの仲間がいること
9. その他(具体的に:)
10. 特に必要なことはない

問9 「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が実現された社会」に近づくために、職場においてどのような取り組みが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 社長や取締役などがリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組む
2. 組織の中で、ワーク・ライフ・バランスを推進する責任者を定める
3. 管理職の意識改革を行う
4. 管理職以外の社員の意識改革を行う
5. 無駄な業務・作業・会議をなくし、労働時間を短縮する
6. 年休有給休暇の取得計画をつくる
7. ノー残業デーを設ける
8. 育児・介護などの休業・休暇制度を充実し、育児・介護休業を取りやすくする
9. 短時間勤務やフレックスタイム制度※など柔軟な働き方ができるようにする
10. その他(具体的に:)
11. 特に必要なことはない

※フレックスタイム制度

労働者が一定の定められた時間帯の中で労働の始業・終業時刻を自由に決定できる勤務時間制度のこと。

